

茨南だより

3S

察知
誠意
スピード感

NO.7 2021.11.2

所課長訪問を終えて

県南教育事務所長
加治 行雄

5月10日からスタートした令和3年度の所課長訪問は、10月29日をもって県南管内211校の全てを終えることができました。教室訪問の時に感じた、凜と張り詰めたほどよい緊張感、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔は、何事にも代えがたいものでした。その背景には、先生方の熱心な授業づくりがありました。吟味された学習課題と工夫された資料、問題解決的な学習過程と時間をかけた振り返りなど、先生方の創意工夫と温かな配慮に深い感銘を受けました。コロナ禍であっても学校は決して歩みを止めず、新たな工夫を生みだしていました。ICTを活用した広がりや深まりのある学びは、子どもたちの知的好奇心を高めてくれました。また、徹底した感染症予防策は、児童生徒の自己管理能力を高め、健康教育を大きく前進させてくれました。

自校の課題を適切に捉えながら組織目標を設定し、学校総がかりで課題解決に取り組む多くの学校とその職員に、改めて敬意を表したいと思います。



総務課

年末調整の報告について

「年末（再）調整報告書5」の適用区分コードが追加され、10区分となっていますのでご注意ください。年末調整のスケジュール等については、別途通知を参照し、期限厳守をお願いします。

また、例年、税務署から、年末調整後に控除対象となる扶養親族の申告誤りや、扶養親族の重複申告等の指摘を受ける事例が発生しております。申告誤りが県の処理後に判明した場合、職員本人による確定申告又は修正申告が必要となりますので、誤りのないようご注意ください。

人事課

令和3年度 優秀教職員の表彰

茨城県教育委員会では、学校教育において顕著な実績を上げ、他の教職員の模範となる教職員をティーチャーオブティーチャーズ(TOT)や優秀教職員として表彰し、学校の活性化や教職員の指導力の向上を図っています。今年度表彰される個人・組織が決定しましたのでお知らせします。

【優秀教職員（個人）】

石岡市立石岡小学校	教諭 櫻井法子先生	特別支援教育（特別支援教育コーディネーター等）
つくば市立高山中学校	教諭 毛塚裕之先生	学習指導（社会科教育、人権教育等）
つくばみらい市立谷和原中学校	養護教諭 池内千香子先生	学校保健（学校運営への積極的な参画等）

【優秀教職員（若手教職員等奨励賞）】

利根町立利根中学校	教諭 高橋瑞樹先生	学級経営（互いに認め合い高め合う学級経営等）
-----------	-----------	------------------------

【優秀教職員（組織）】

つくば市立谷田部東中学校	教職員一同	地域との協働推進（学校と地域が協働・融合する市民団体の設立等）
--------------	-------	---------------------------------

学校教育課

活用してください②

端末の活用に向けた研修も、「日常的な活用」から、「効果的な活用」を意識したものへと変化していることと思います。そこで今回は、研修に有効なサイトを紹介します。いつでも、どこでも、何度でも、必要な人が必要な時に確認できることが、インターネット上のサイト等を活用した研修の良さです。一人一人のニーズにあった研修の充実を図るために、積極的に活用してください。

【茨城県教育委員会：茨城県教員ICTポータルサイト】

<https://sites.google.com/edu.pref.ibaraki.jp/ibkictps/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

【茨城県教育研修センター：Google Workspace for Education 授業活用サイト】<https://sites.google.com/post.ibk.ed.jp/gwe/home>

【文部科学省：StuDX Style】

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>





末松文部科学大臣 並びに 初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム

来訪!

つくば市教育委員会

10月18日、末松文部科学大臣が視察のために、つくば市立みどりの学園義務教育学校に訪問されました。

みどりの学園義務教育学校では、つくば市が「つくばシームレス教育」として進める、プログラミングを使った地球規模の課題の解決方法を考える「STEAM教育」や、宇宙ステーションとの交信を試みる「遠隔教育」など、1人1台端末を活用した先進的な授業の様子を見学されました。また、学園生からは県の英語プレゼンテーションフォーラム代表者による学校紹介や、プログラミングの発表も行われ、学校全体で自在に端末を活用して学習を進めていく様子を間近で見ていただくことができました。

午後には、GIGAスクール構想を牽引する文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチームのメンバーの方々が、つくば市立竹園東小学校を視察されました。竹園東小学校では、つくば市のICT教育のはじまりとなるCAI教室を案内し、森田教育長が当時からの理念について説明を行いました。授業では、社会科で白地図をスタディノートに配付し、歴史背景による領地獲得を視覚化したり、学習者用端末に安価なレンズをつけたりすることで、1人1台の顕微鏡代わりにするなど学習者用端末を効果的に活用している様子を見ていただきました。



美浦村教育委員会

分散指導によるコロナ禍での登校 ～子供たちの笑顔が戻った2週間～

9月21日(火)国の緊急事態宣言は発令中であつたが、県独自の非常事態宣言が解除され、初めての平日を迎えた。その時の本村の感染状況は数日間0が続いており、周囲の市町とは状況が異なっていた。20日までの授業の欠課時数が中学3年生を除く学年では約85時間となり今後の臨時休校を予測すると心配な数字である。そこで、本村では「分散指導」を取り入れた。学級を空き教室を利用して2つに分け、担任との対面指導と一人一台のタブレットや電子黒板越しのオンライン学習(途中担任は均等になるように教室を移動する)で行った。美浦村の学校は小、中規模校で空き教室があるからできる方法である。子供たちは、担任の説明を食い入るように見つめ、一言も聞き漏らすまいと集中して取り組んでいた。30日までに約32時間程度の授業が実施された。授業後には黙食のルールを守りながら給食をおいしそうに食べる姿もあった。

家庭での成果のあるオンライン学習にはほど遠いが、コロナ禍における登校のあり方、授業のあり方としては大きな一歩であり、子供たちのうれしそうな笑顔でさらにそれらを実感することができた。

画面越しの担任が授業を展開



オンライン学習の練習



孤にならない(自分)・孤にしない(仲間)・孤をつくらない(担任) 学級経営の充実



今年度美浦村学校教育指導方針では、豊かな心を育む教育の推進の一つに、「孤にならない(自分)・孤にしない(仲間)・孤をつくらない(担任)」ことを掲げている。いじめ問題未然防止のためには、いじめをしない子を育てるのか、いじめられない子を育てるのか、自殺をしない子を育てるのか、そして児童生徒一人一人にどのような資質能力(スキル)を身につけさせていけばよいのかを常に考えているところである。そしてその施策として「声に出す・声に表す・他者の声を聴く」を掲げてそのスキルを身につけさせるトレーニングとして授業の開始時にピアトレーニングを取り入れている。二人一組で1分間に問題文とそれに該当する答えを声に出して行い、他一人が終わったら交代する。ピアトレーニングは4校で取り入れており、学力向上策としても有効であると考えている。また、「自分から声に出す・声に表す・他者の声を聴く」ためのスキルは、協働的な学びにもつながると確信している。

